

## 三角形と四角形（逆） 解答と解説

---

- 1 答え (1) 逆は「 $ab=8$  ならば  $a=2, b=4$ 」  
(2) 逆は「 $n+m$  が偶数 ならば  $n, m$  は偶数である。」  
(3) 逆は「2 直線が平行ならば, 同位角は等しい。」
- (1) 逆は「 $ab=8$  ならば  $a=2, b=4$ 」  
(2) 逆は「 $n+m$  が偶数 ならば  $n, m$  は偶数である。」  
(3) 逆は「2 直線が平行ならば, 同位角は等しい。」

- 2 答え (1)  $\triangle ABC$  と  $\triangle DEF$  において,  $BC=EF$  ならば  $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$   
逆は 正しくない  
(2)  $a+b=4$  ならば  $a=6, b=-2$   
逆は 正しくない

- (1) 逆は  
 $\triangle ABC$  と  $\triangle DEF$  において,  $BC=EF$  ならば  $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$   
2つの三角形が合同であるためには  
「3辺がそれぞれ等しい。」  
「2辺とその間の角がそれぞれ等しい。」  
「1辺とその両端の角がそれぞれ等しい。」  
のどれかが成り立っている必要があるから  
逆は 正しくない
- (2) 逆は  
 $a+b=4$  ならば  $a=6, b=-2$   
 $a=2, b=2$  でも成り立つから  
逆は 正しくない

3 答え (1) 逆は「 $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ において、 $AB=DE$ ならば $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ である」

逆は正しくない。

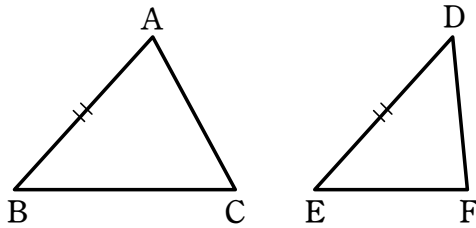
(2) 逆は「自然数 $a, b$ で、 $a+b$ が偶数ならば $a$ も $b$ も奇数である」

逆は正しくない。

(1) 逆は

$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ において、  
 $AB=DE$  ならば  $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$  である。

下の図の $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ は、 $AB=DE$ であるが、合同ではない。  
よって、逆は正しくない。



(2) 逆は

自然数 $a, b$ で、  
 $a+b$ が偶数 ならば  $a$ も $b$ も奇数である。

$a=2, b=4$ について、 $a+b$ は偶数であるが、 $a, b$ は奇数ではない。  
よって、逆は正しくない。